

## 【平成 27 年 1 月 1 日以降で消化器内科にて内視鏡的逆行性膵胆管造影（ERCP）を受けた患者さん、およびご家族のみなさんへ】

当研究の対象者として該当される方にお知らせ致します。対象とされることを希望されない場合や疑問点などがありましたら、お手数ですが下記連絡先までご連絡ください。

### 【研究タイトル】

当院における内視鏡的逆行性胆管膵管造影（ERCP）\*<sup>1</sup>の実態調査

\*1:内視鏡的逆行性胆管膵管造影とは、口から十二指腸まで内視鏡を入れ、その先端から胆管・膵管の中にカテーテル(細い管)を挿入します。カテーテルから造影剤を入れて胆管や膵管の X 線を撮ります。同時に短銃や膵液を採取したり、胆管に詰まった結石を取ったり、病変部から組織や細胞を取って検査を行うこともあります。

### 【研究背景・目的】

内視鏡的逆行性胆管膵管造影(ERCP)は胆管や膵臓の疾患の領域で必要不可欠な検査、治療法です。しかし、治療で得られる効果や情報も大きいものの、合併症の頻度は決して低いものではなく、稀に重篤な合併症となる可能性があります。

この研究は、当院における内視鏡的逆行性胆管膵管造影(ERCP)の治療を受けた患者さんの、経過や検査データをたくさん集め、解析、検討することで今後の診療に役立てていきたいと考えています。

### 【研究期間・取得情報】

- ・研究期間は、平成 30 年 3 月 27 日から平成 33 年 3 月 31 日
- ・対象：平成 27 年 1 月 1 日から平成 32 年 3 月 31 日までに内視鏡的逆行性胆管膵管造影を受けた患者さん
- ・取得情報：年齢、性別、診断名、術者、施行理由、施行時間、既往歴、内服薬の種類および量、バイタルサイン（血圧、心拍数、酸素飽和度）、検査時に使用した道具、施行検査の種類および保険点数、採血結果、胆汁培養結果、血液培養結果、レントゲン所見、CT 画像所見、入院日数、治療後の経過、術後合併症の有無

## 【個人情報の取扱い】

研究の際の個人情報の取り扱いは、研究責任者により厳重に管理され、外部への研究発表の際には患者さん個人を特定する情報は含まないようにして行います。

研究の対象となることを望まない旨の申し出があった場合には、ただちに研究対象から除外します。なお、匿名化（データの識別のために個人を特定できる情報を番号・記号等に置き換えること）を行った後の患者さんの情報については、研究から除外できない場合もありますのでご了承下さい。

## 【診療記録(カルテ)等の開示について】

当院は、研究に使用しました患者さんの診療記録等について、患者さんが開示を求められた場合には、遅滞なく内容を確認し、当院の「患者情報の提供等に関する指針」に従って対応いたします。当院の診療記録等に関してのご質問や患者さんの個人情報のお問い合わせは、下記、「問い合わせ先」にてお受けいたします。

- ・ 診療記録を複写・印刷する場合の料金：枚数×20 円＋消費税

## 【研究組織】

研究責任者：飯塚病院 消化器内科 安倍俊行

## 【問い合わせ先】

飯塚病院 消化器内科 安倍俊行

〒820-8505 福岡県飯塚市芳雄町 3-83

TEL：0948-22-3800（代表）